

Make Sense 総務委員会

委員長 岡本 大正

[スローガン]

Make Sense

[基本方針]

亡父は、私に何も与えないことを教育方針としていた。そのため、私は、新聞配達をして貯めたお金でパソコンを自作した。当時は、なぜ?と思っていたが、今になって思えば、父は私に、自ら学ぶことの重要性を体験させたかったのだと思う。

そんな私は、20歳の誕生日を待って、ドバイに証券取引口座を開設した。英語で書かれた資料をパソコンでダウンロードし、記入して、パスポートのコピーと共にドバイに送った。当時、共通の趣味を持った人間はおらず、全てを独りで学び、口座を開設した。

その後、10年間で50回以上海外に渡航した。言語を学び、世界各地の人と直接コミュニケーションをとることで、各国の文化や歴史を知ることができ、それらの国々と比較することで、日本を違う視点で学ぶことができた。

2021年度、私の担当する例会では学びを求め、JCIミッションを遂行する。

そしてこれまでの伝統を尊重しつつ、理事長の掲げる新たな形に挑戦したい。それは例会出席率を極限まであげるためMake Sense（理にかなった形）で運営し、これまで以上の結果が望めるか挑戦したい。

また昨今のコロナ問題における安全、衛生面の問題に十分配慮し、参加者に不安や失礼の無いよう臨みたい。来賓者が参加する例会では時代に合った形に運営を効率的、効果的に行い、来賓者にアピールできるよう工夫したい。

やらずに後悔しないよう、勇気をもって新しいことに挑戦し続ける1年間にしたい。

〔事業計画〕

1. 事業名：総会運営
目的：総会の円滑な運営
方法：資料作成、会場設営、受付、運営、議事録作成

2. 事業名：例会運営
目的：JAYCEEとしての意識統一の場とし、例会で学びを得て、意識を高めたメンバー全員が一丸となって呉青年会議所活動を行う
方法：会場設営、受付、運営

3. 事業名：1月例会（新年互礼会）
目的：2021年度 公益社団法人呉青年会議所の理念と基本方針について、特別会員に伝える事で、今後のご理解とご協力に繋げ、より成果の高い地域貢献活動を展開する
方法：会場設営、受付、運営

4. 事業名：6月例会（高知合同例会）
目的：兄弟JCである高知に訪問し、合同例会を行うことで絆を深め、互いの成長を鼓舞する。
方法：運営補助

5. 事業名：11月例会（創立記念日例会）
目的：公益社団法人呉青年会議所の創立69周年を特別会員会と共に祝い、当団体の理念を再認識し、今後のより高度な地域貢献活動の実施に資する
方法：会場設営、受付、運営

6. 事業名：12月第一例会（次年度担当例会）
目的：2022年度公益社団法人呉青年会議所の基本方針をメンバー全員で共有することで、次年度の活動に対する意識を向上させる
方法：会場設営、受付、運営

7. 事業名：12月第二例会（納会・卒業式・卒業送別会）
目的：卒業生の功績をたたえとともに、卒業後の公益活動を喚起することで、明るい豊かな社会を実現する。
方法：会場設営、受付、運営

8. その他